

平成30年度 第3回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成31年2月18日（月） 9時30分～11時00分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター 研修室（中央生涯学習センター5階）
- 3 出席委員 16名  
丸山委員長，竹内副委員長，長谷川委員，日渡委員，金田委員，石井委員，高岡委員，池田委員，半田委員，斎藤委員，十河委員，稲葉委員，小林委員，西田委員，生垣委員，浅野委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
  - ・報告事項
    - (1) 平成31年宇都宮市成人式について（実施状況報告）
    - (2) 平成30年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について
    - (3) 宇都宮市民大学（後期）の実施状況について
  - ・協議事項
    - (1) 平成31年度生涯学習センター事業計画（案）について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず，報告事項（1）「平成31年宇都宮市成人式について」事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の成人式につきまして，ご意見，ご質問，あるいは参加された感想などありましたらお願いいたします。  この成人式の資料の最後には，参考ということでアンケートの集計結果などがまとめられております。  それも踏まえまして，何かご意見などございましたらお願いします
高岡委員	1ページの3．出席状況の中の出席率について，70%から74%くらいということで推移しておりますけども，他の市町村と比べて宇都宮市の出席率というのは高いのか低いのか，その数字は分かるのでしょうか。

事務局 他市と比較しての出席率ですが、そういった部分で緻密に比較したことがなく、手元にご回答できるものはないのですが、宇都宮市はこの73%～74%で推移しております。

東日本大震災の後からの成人式は出席率が上がり、74%くらいとなってからは緩やかに右肩下がりになっているのですが、現在はこのくらいのパーセンテージとなっております。他市との比較につきましては、貴重なご意見として、県内の自治体の出席率など参考にしながら今後も多くの新成人に参加していただける成人式を実施していきたいと思っております。

高岡委員 県内の市町村との比較もそうですし、宇都宮市と同じくらいの規模の他県の市なども出席率を調べていただくと、これから内容によって伸びがあるものなのか、それとも今の状況が非常に高い数字なのかということが確認できると思っておりますのでよろしくをお願いします。

丸山委員長 大変興味深い質問ありがとうございました。他に何かございますか。

半田委員 国本中に参加しましたが、会場はとても和やかで良い雰囲気です、式は滞りなく済んだのですが、市内の成人式全体としては何かトラブルなどの情報は上がってきたのでしょうか。

事務局 宇都宮市の成人式につきましては、幸いテレビで取り上げられているようなトラブルは全くなく、中学校区ごとの会場で厳粛に滞りなく実施ができました。中学校単位に会場を細かく分けて実施していることや、地域の方が運営に携わっていただいているので、新成人もおとなしいのではという報告などいただいております、大きなトラブルはありませんでした。

丸山委員長 ありがとうございます。他に何かございますか。

それでは他にないようですので、この件については以上とさせていただきます。

次に報告事項の②「平成30年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について」、それから報告事項の③「宇都宮市民大学（後期）の実施状況について」、こちらの2つは関連があるものとなりますので、事務局から一括で説明をお願いいたします。

事務局 【資料について説明】

丸山委員長 ただいまの報告事項②、③の説明につきまして、ご意見ご質問ございましたらお願いいたします。

斎藤委員 私の地区で地域未来塾を開催させていただいて、私も見させていただきました。

その中で一つ気がついたことは、参加したのは女子中学生が非常に多かったという印象があり、他の地区で実施された時はいかがだったのでしょうか。また、実施をして生徒たちの反響はどうだったのでしょうか。

事務局

地域未来塾につきましては、事前に晃陽中学校の校長と開催場所等の協議をさせていただき、晃陽中の学区が富屋地区と篠井地区ということで、行き帰りの事故などがないう富屋地区市民センターと篠井地区市民センターの近い方を生徒に選んでいただき実施をしたところです。部活などの関係もあるため、部活の顧問の先生にもご配慮をいただきました。結果的にはご意見いただいたように女子生徒が多かったという実情ではありまして、前回、8月にこちらの部屋を会場にして中央地区の中学校を対象にした時にも若干女子生徒が多かったというところでした。また、反響につきましては、地域未来塾を実施した際にアンケートをとらせていただきましたが、学校の先生と比べると生徒の年齢と近い方から勉強を教えてもらえるということで、楽しく、分かりやすく勉強ができたなど、大変好評でした。地域の魅力ある学校づくり地域協議会で運営していただくのが目指すべき地域未来塾ですので、晃陽中でも来年度以降定期的に開催できるよう広まっていければいいかなと考えております。

浅野委員

合同開校式と同時に行われている公開講座について、受講者数161名となっていますが、このうち専門講座の受講者は何名だったのでしょうか。

事務局

公開講座だけを受講された方は5名と聞いておりますので、156名が専門講座の受講者となっております。

浅野委員

専門講座の受講者は全部で340名いるうち、公開講座を受講した人が156名ということは、およそ半分の人しか受けていないということになります。受講料を払っているのに非常にもったいないと思うのですが、受講しない原因は何があるのでしょうか。

事務局

いただいているアンケートなどによりますと、専門講座の例えばIの日光山の歴史を受講された方については、公開講座の健康寿命というテーマは学びたいジャンルが違う、中には興味がない方もいらっしゃるというところがございます。

こちらについては、前回もこの審議会でご意見をいただき、事務局といたしましても課題として認識しているところがございますので、公開講座・合同開講式のあり方や開催の手法などについて、何らかの形で見直しをしていきたいと検討しております。また、受講生からも同様のご意見をいただいておりますので、いただいたご意見を参考にしながら、現在、検討を進めているところでございます。

半田委員

地域未来塾については、まさに私は魅力ある学校づくり地域協議会で活動しているのでお伺いしたいのですが、大学生に登録してもらい指導する体験をしてもら

場という側面と、中学生が教えるという側面がある事業だったと思うのですが、大学生側の感想などはどのような感じだったのでしょうか。

事務局

受講された先ほどの晃陽中の生徒とあわせて、大学生にもアンケート調査を行っております。日頃、学習塾で中学生に教えているという大学生もいらっしゃいましたが、そういった経験はなく教育学部で教員を目指している大学生もかなりいました。実際、中学生に勉強を教える体験ができたということで、非常に良い経験になったという声を多数いただいているところです。

半田委員

それと、魅力ある学校づくり地域協議会と連携してということなのですが、魅力ある学校づくり地域協議会はどのような形で関わっていたのでしょうか。

事務局

こちらではできるだけ多くの中学校で地域未来塾の取組を進めていきたいという中で、今回はご縁があり晃陽中学校で開催させていただいたのですが、12月1日と8日の2回とも、魅力ある学校づくり地域協議会の役員の方には事前に周知をさせていただき、両日とも会長を含めた何名かの地域協議会の委員に見学に来ていただきました。まずは地域未来塾をどうやるのかを見ていただきイメージをしていただいて、地域未来塾を進めるきっかけづくりとしたところです。

半田委員

これからどのように進めていくかなど考えていることはありますか。

事務局

進める上では地域の実情などもありますが、その他、学習支援員として人材登録をさせていただいた学生は宇都宮大学をはじめとして60人近く集まったのですが、車の免許がなく移動の手段がない学生が多いので、この事業が各中学校に広まり様々な中学校で学習支援員が必要となった場合に、交通の便があまり良くないところはどう行くかなどの課題も出てきておりますので、そのような課題の整理や事業の周知をしながら、一つでも多くの学校で取り組んでいただけるように支援をしていきたいと考えております。

丸山委員長

ありがとうございました。他に何かございますか。

小林委員

Vスタッフについてお伺いしたいのですが、この事務所はどこにあるものなのか、また、Vスタッフのメンバーは各生涯学習センターに行ったりしているものなのでしょうか。

事務局

講座企画・運営ボランティアスタッフとして毎年養成しております、現在70名ほどが登録をしております。事務局はこちらの4階にあります人材かがやきセンターが事務局になりまして、毎年、活動の意思確認をさせていただき、Vスタッフの方がお住まいのところを拠点として、近くの生涯学習センター等で活動されているVスタッフのグループや、個人で活動している方もいらっしゃいます。

小林委員 Vスタッフの登録メンバーの名簿などは各生涯学習センターに配られるなどしているものでしょうか、もしくはこちらの人材かがやきセンター来ないとわからないのでしょうか。

事務局 名簿などについては各生涯学習センターに配るなどはしておりませんが、人材かがやきセンターにお問い合わせいただくと必要に応じてお答えしているところです。

小林委員 Vスタッフの方に何か講座をお願いしたいということではできないのでしょうか。

事務局 何か講座をお願いしたいということであれば、生涯学習センターや人材かがやきセンターにお問い合わせいただき、やりたい講座の内容などをご相談いただければ、講師をご紹介するなどの対応をとっております。マナビスというパソコンで講師を検索できるシステムもありますが、お電話等でご相談いただきましても、Vスタッフだけでなく、講座の内容に合致した講師を紹介するなどしております。

生垣委員 私はVスタッフに登録しており、市民大学等の企画・運営をやっておりますが、Vスタッフはそれぞれのグループが企画を出し、それが審査され、通れば実施することになります。幸い私が所属するグループは毎年、いくつか採用していただいておりますが、個人的に感じるのはマンネリ化しすぎているということです。Vスタッフからすると企画が通ってはじめて活動ができるため、採用されるということを中心に考えます。そのため、受講者がどういった講座を期待しているかという目線ではなく、歴史をテーマとした企画を出す通りやすいなど、企画を通したいという目線で、確実に通りそうな講座の企画を毎年繰り返し、それが毎年採用されているということになっています。私はこの中央生涯学習センターを拠点に活動しており、人材かがやきセンターのスタッフの方も非常によく一緒にやっていただいておりますが、マンネリ化を感じております。第6次宇都宮市総合計画においても「未来都市うつのみや」を掲げておりますので、未来につながることを意識した講座の企画・運営など、何か変化が必要なのかなと思います。

丸山委員長 ありがとうございます。事務局から今後の方向性など何かありますか。

事務局 市民大学の講座の設定につきましては、例年11月頃に次年度の講座の企画の審査をしておりますが、Vスタッフの方には行政的課題や今日的課題、最新の話題などもテーマとしてご検討いただきたいことを毎年示した上で、企画提案などをいただいているところです。今年度は、健康をテーマにしたというところで、前期の講座ではガンをテーマに土曜日に開催するなどしておりますが、人気があるということで確かに毎年2つほどは歴史に関係する講座は入っております。そのため、マンネリ化と感じられることもあるかもしれませんが、市民大学はテーマを掘り下げた専門的な有料講座ということで、中々他では聞けない講師の方を手配していただく

など、Vスタッフの方にご苦勞いただきながら実施しており、歴史に関する講座も含めて魅力的な講座となっております。

丸山委員長                    ありがとうございます。他に何かございますか。

竹内副委員長                この人材かがやきセンター主催講座および宇都宮市民大学といった事業については、次第の（1）報告事項とあるとおり協議事項ではないとなっております。それは、この運営審議会の委員が協議するのは、各生涯学習センターで行う事業であるためという違いがあると思います。ですが、先ほどまでにいただいている大変貴重な意見を踏まえると、生涯学習センター運営審議会の協議事項、審議事項として、人材かがやきセンター主催講座および市民大学を捉えられないものかと思えます。

丸山委員長                    こちらについてはいかがでしょうか。別の協議会などもありますので、こちらの審議会での話は意見として伝えるような形なのでしょうか。事務局よりお願いします。

事務局                        協議事項としてとりあげてはどうかということですが、基本的にはこちらが生涯学習センター運営審議会となりますので、18の生涯学習センターの事業についてご意見等をいただく会議体となっております。人材かがやきセンター主催講座や市民大学の講座についてですが、市民大学は運営協議会をもっておりますので、その中で協議を行っていくこととなります。また、この審議会とは別に社会教育委員の会議という会議体がございますので、その会議において、人材かがやきセンター主催講座、市民大学、生涯学習センターの大きな方向性やあり方について協議いただくものと考えております。こちらの審議会でご各委員からいただいたご意見につきましては、貴重なご意見として今後の検討の参考とさせていただきます。

丸山委員長                    ありがとうございます。他に何かご意見・ご質問ございますか。

それでは、次の議案に移らせていただきます。（2）協議事項「平成31年度生涯学習センター事業計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

事務局                        【担当より資料全体の説明後、出席しているセンター所長より平成31年度の新規事業、重点事業等について説明】

丸山委員長                    事務局と本日出席の生涯学習センター所長から事業計画（案）について説明していただきましたが、ご意見・ご質問ございましたらお願いいたします。

西田委員                      来年度のプログラムについて、それぞれの地域のニーズに対応しながら企画されているなど感じましたし、新規のキャリアデザインや防災、親子で出かける機会づくりなどは社会のニーズに合致したものかなという感想をもちました。また、平石

地区や富屋地区は、保健福祉の拠点という強みを活かした企画をしているなど感じた中で、平石の計画で教えていただきたいのですが、基本方針の最後の方に「石井・陽東地区との融合を図った事業を展開していく」ということで具体的にどのような取組をされていくのか教えていただければと思います。

平石生涯学習  
センター所長

例えば、高齢者友遊教室の10回講座の中で、プロのオーケストラの方に来ていただくスペシャルコンサートを行いますけども、平石の方だけでなく、ぜひ石井・陽東地区の方にも来ていただきたいということで、回覧板を石井・陽東地区にも回して合同で開催しております。

西田委員

ありがとうございました。

特にこの保健福祉の拠点を活かした活動は、我々作新短大の方でも子育てサロンを清原地区ですがやっており、川を越えてですが何か協力できることはないかなと考えておりますので、将来的にそういったこともご相談させていただければ感じました。

丸山委員長

他に何かございますか。

高岡委員

若い方、現役で働いている方達の参加がこれから大切なのではないかと思います。若い方や現役の方がこういう地域のコミュニティに参加することで意識が高まるのではないかと考えておりますが、現役の方にこういう事業に参加していただくには、どうしても夜や土日の開催というのが必要になってくると思います。辛口で申し上げますと、全体の内容を拝見した中で、平日の開きやすい時に集まりやすい人を集めているという印象が拭えないです。その中で、東生涯学習センターはキャリアデザインと忙しいアナタのための時間管理術で、現役世代の方たち向けの講座を新規事業として2つ含められており、2つほどお聞きしたいのは、夜間と土日の開催についてやりづらさなどはないのかということと、その土日や夜間開催に踏み込んだノウハウとございますか、切り込んだやり方があれば教えていただきたいと思います。

東生涯学習セ  
ンター所長

忙しいアナタのための時間管理術につきましては、金曜日の夜間を設定しております。また、もう1つのキャリアデザインにつきましては、土曜日の午後ということで、高校生以上を対象として、そういった方々が集まりやすい時間帯に設定しております。こちらについては、どうしても現役世代またはこれから社会に出てくる高校生などが学習する場の必要性をセンターで感じていたところもありまして、計画いたしました。職員についてはうまくやりくりをして配置をできるのですが、人が集まるのかということが最大の課題になってくるかと思います。そのため、時間帯の設定のほかに広報うつつのみやや市のホームページなど可能な限り人を集める工夫をしていきたいと考えております。いずれにいたしましても東生涯学習センターの中で空白となっていた年代層をターゲットにし、あまり長くやってしまうと続かなくなってしまうことも考えられますので、2、3回の講座の中でうまく伝えてい

けるように考えております。

高岡委員

現役世代の方を集めるためには、日時の設定と広報の手段という2つの大きな問題があるということでしょうか。

東生涯学習センター所長

はい。日時の設定と広報、特に広報がかなり大きなウエイトを占めるのではないかと考えております。

浅野委員

2つほどありますが、1つ目は全体の内容を見ますと政治に関する話はないんですが、今度成年年齢が18歳に若くなるなど、若い人に政治に関心を持たせるということが重要じゃないかなと思います。行政の講座では政治の講座というものは何か制約などあるのでしょうか。

あともう1つは、中央生涯学習センターの事業計画の中で、宇都宮市民大学という事業はどこに入っているのでしょうか。

事務局

1つ目の内容ですが、政治に関する内容を取り上げることに制約などはございません。どこの生涯学習センターでも連続講座の中の1回に入れるということなどはあると思いますが、今回のこの事業計画の中では講座全体としての内容を記載しておりますので、民法や刑法についてなどを全面に出したものはないところです。そのため、生涯学習センターの講座の中で取り上げられないというものではございません。

もう1つの市民大学につきましては、中央生涯学習センターに付随している事業ではなく、別に市民大学という独立した組織になりますので、こちらの事業計画とは別のものとなり、掲載しておりません。

生垣委員

それぞれの事業に対して、どのような結果になればそれが成功といえるか、あるいはダメであったか、そういう判断基準をもって計画されているのでしょうか。この企画に対しては非常に多くの参加者が来たから成功だということか、それぞれの事業によってあるかと思えます。あるいは、事業によってはこういうことを伝えた、覚えてもらったということであっても評価の対象になるかと思えます。そういった中で、その先にどういうつながりがあるのか、これは評価としては非常に難しいことだと思いますが、こういうことをやったから、こういうことに発展していったというようなことであれば、その事業は成功なのだと思います。ですから、事業計画を立てられた後、自分たちでただ単にアンケートをとりました、非常に良かったというのが沢山あったから成功だと思われるのではなく、もう少し分析してやっていたければ、事業計画自体も先につながっていくと思えます。

丸山委員長

それでは他に何かございますでしょうか。

竹内副委員長

各生涯学習センターの所長が苦勞されているということがわかりますが、説明を

お聞きして、中心部の生涯学習センターと周辺の生涯学習センターで若干の違いがあるなど感じました。特に、周辺の生涯学習センターでは、まちづくり協議会あるいは地域ビジョンと生涯学習との関わりを意識されて講座をやっているなど印象を受けました。感想として、横川と篠井生涯学習センターからそういったものとの融合といいますか、どのあたりで苦勞されているのかお聞かせいただければと思います。

横川生涯学習  
センター所長

融合という点でどのような苦勞があるかということですが、そういった地域のことを念頭に置きながら面白い講座を作るというのはできると思いますが、それだけではなく、そこからもう一歩、人と人の顔や気持ちのつながりなどを作っていくために、受付や関わる人など細かいところも含めて、講座のあらゆるところでどのように仕掛けていくか気を配っているところです。

篠井生涯学習  
センター所長

横川の所長の話にもありましたが、生涯学習の講座ですが地域というものを常に意識しながら、受付なども協力をいただくなどもございます。また、篠井地区におきましては、人口も少ないため人材発掘などがどうしても進まず、まちづくりの側面からはとにかく新しい活動者を発見したいというのがあります。そのような時に生涯学習という切り口で、新しい人に来てもらうなど期待する部分がありますので、ご質問いただいたとおり地域ビジョンとの兼ね合いはすごく意識しております。先週の金曜日にもまちづくり協議会の方とビジョン全体についてですが4時間ほど意見交換を行ったところでして、ビジョンに掲げた人づくりの部分で生涯学習講座が担う役割などの意見交換をしながら、できるだけ反映していきたいという視点で取り組んでおります。

丸山委員長

ありがとうございます。他に何かご意見ございますでしょうか。

それでは、協議事項「平成31年度生涯学習センター事業計画（案）について」この案を承認することとしてよろしいでしょうか。

全員

異議なし。

丸山委員

それでは承認とさせていただきます。

以上をもちまして、本日予定しておりました議事はすべて終了いたしました。色々と貴重なご意見をいただきまして大変ありがとうございました。

それでは進行を事務局にお返しします。

事務局

それでは次第の3その他に移らせていただきます。事務局から連絡事項がございます。

【配付物について説明】

事務局

本日は委員長を始め、委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。委員の皆様の人気につきましては、本年5月31日をもって満了となります。任期中に委員の皆様からいただいた貴重なご意見につきましては、今後の生涯学習事業に反映させていただきたいと考えております。今後とも本市の生涯学習センターの運営にご支援、ご協力いただければと思います。

以上をもちまして、平成30年度第3回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。